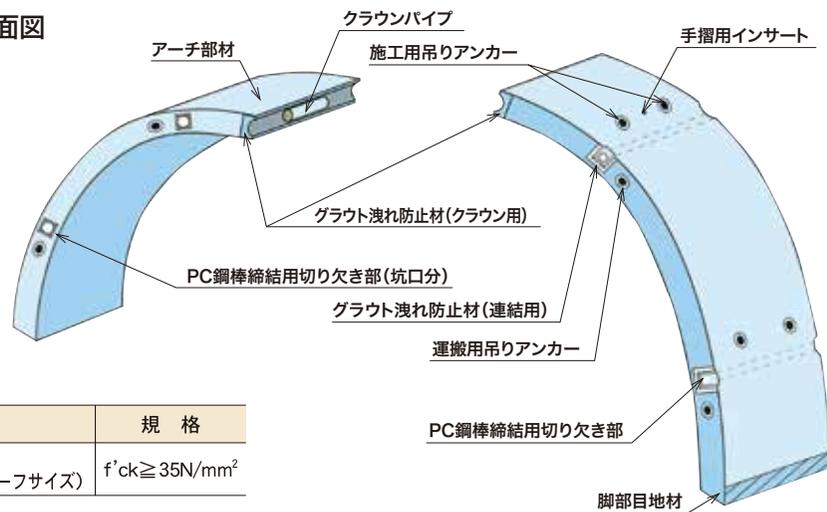


# テクスパン

**NETIS** CB-980117-V



●アーチ部材断面図

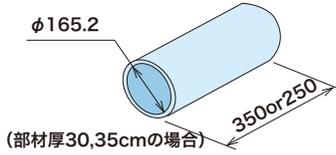


品名	形状・寸法	規格
アーチ部材	厚さ: 250, 300, 350, 400mm 幅 : 1250(フルサイズ), 625(ハーフサイズ)	$f'_{ck} \geq 35\text{N/mm}^2$

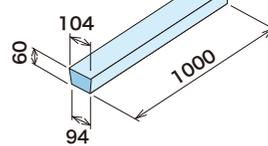
名称

●クラウンパイプ

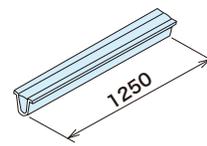
規格寸法



●上部目地材



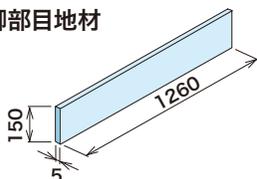
●下部目地材



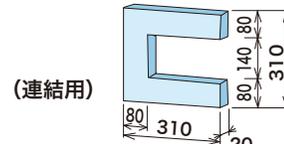
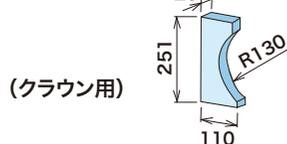
名称

●脚部目地材

規格寸法



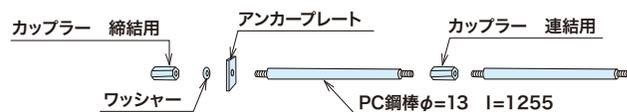
●グラウト洩れ防止材



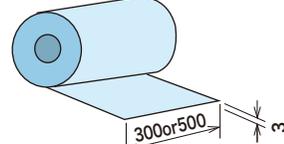
名称

●PC鋼棒

規格寸法



●防水シート



(単位:mm)

特殊製品・工法類  
テクスパン

# 盛土仕様

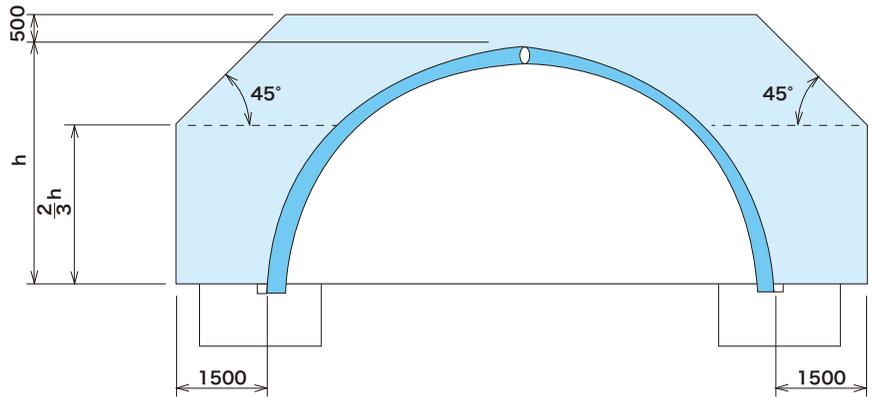
●図-1 裏込め材料の範囲

## 1. 裏込め材料の規定及び使用範囲

裏込め材料は表-1に示す粒度規定を満足するものを使用します。また、裏込め材料は図-1に示す範囲に使用します。その他の範囲に使用する盛土材料は一般的な土工に用いられる盛土材料規定に従います。

表-1 裏込め材料の粒度規定

ふるい寸法	通過百分率
150mm	100%
75mm	75~100%
0.075mm	0~15%



●図-2 各締固め区域の分類

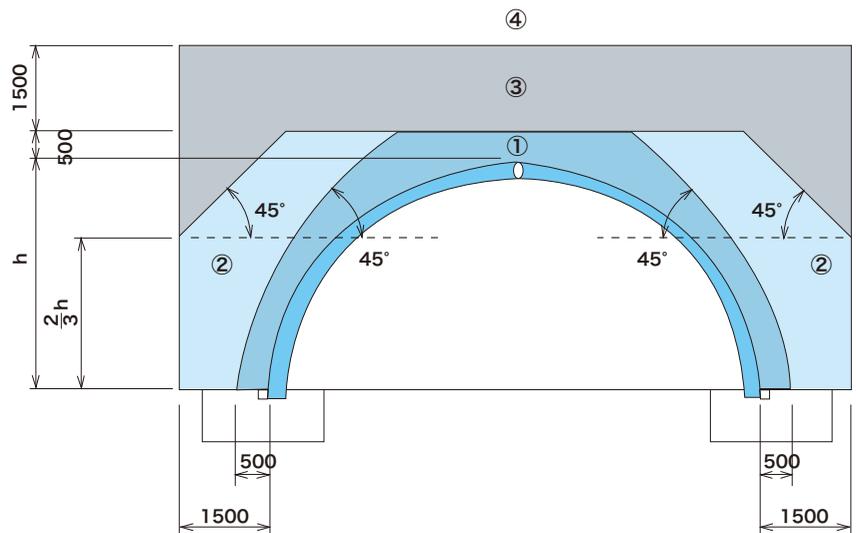
## 2. 締固め区域の分類

締固め区域は締固め度、使用する転圧機の種類に応じて、図-2に示す①~④の区域に分類されます。各区域の締固め度、転圧機の種類は表-2に示す通りとします。

表-2 各締固め区域の施工条件

区域	締固め度	転圧機の種類
①	—	—
②	90%以上	小型転圧機
③	90%以上	中大型転圧機
④	一般的な盛土規定に準ずる	

※区域①は無転圧区域とします。



## 3. その他の盛土工規定

- ・盛土の一層仕上がり厚さは最大250mmとします。
- ・アーチ両側の盛土高低差は最大500mmとします。

## ●施工手順

### 部材の製作

全ての形状に対応できる型枠で製造します。

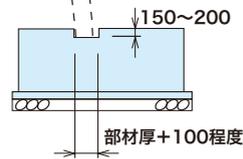


### 基礎工事

現場打ちで施工し、特に基礎のキーウェイは注意して打設を行います。

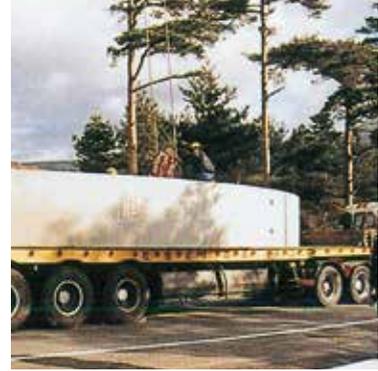


〈基礎キーウェイの断面図〉



### 材料搬入

アーチの架設に合わせた搬入計画に従い、アーチ部材を現場まで運搬します。



## 完 成



### 盛土工事・坑口工事

盛土工は坑口付近の盛土工と同時期に行われるため相互に調整して施工を行います。

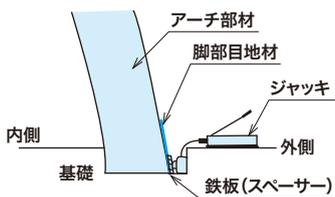


### アーチ部材の組立

仮置した部材を反転させ、左右交互に組み立て、架設します。

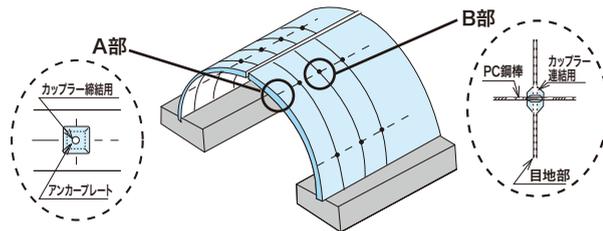


〈組立微調整図〉



### 坑口部の連結工

地震時の影響を考慮して坑口付近のアーチ部材をPC鋼棒で連結します。

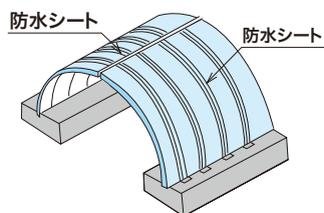


### 防水工事

目地部に防水シートをはり、水の浸入を防ぎます。



〈防水工詳細図〉

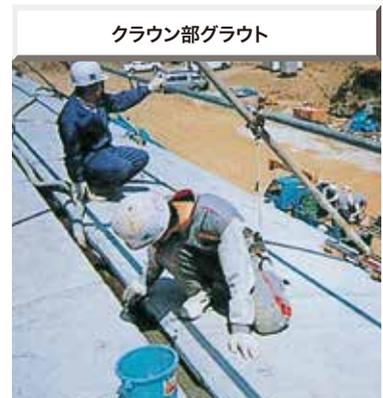


### グラウト工事

ヒンジ部分に当たるクラウン部、脚部にグラウトを行います。



脚部グラウト



クラウン部グラウト

〈クラウン部グラウト〉

